

将来構想の着実な推進に向けた取組について (進捗状況の継続的な検証)

1 これまでの意見

(1) 検討会議（第1回）

- 改革の次の動きとして、検証というものが大きな流れである。この検証をいかにするかによって、次の改革の手がかりが得られることになる。
- 検証は、全国十数の都府県で行われている。高校教育改革の成果としては、多様化・個性化の実現が図られたこと、一方、課題としては、多様化・個性化に対応した仕組みを上手く生かせない生徒の存在、社会や生徒の変化により一層きめ細やかに対応する必要性、多様化・個性化に対応するための人的・物的条件の整備が挙げられている。
- 多様な高校が多くできたことにより、総合学科と単位制高校の違いなどがわかりにくくなってきたこと、また、特色が出しづらくなってきたことや、設置当初の特色ある教育の意欲が段々と薄れて、成果があまり上がらなくなってきたことなどが指摘されている。
- 検証をさらにしっかり行う必要がある。高校教育の質の保証というものが大きなテーマになってきており、また、更なる多様なニーズにどう応えるのか、財政投入に見合った成果が出ているのかなどの検証が必要であり、メリハリのある政策を立てていかなければならない。

(2) 第1分科会（第5回）

- 地区の高校の現状は、普通科、農業科、工業科、総合学科、夜間定時制の学校・学科の構成であって、地域の産業構造には適合しており、各高校、各学科の成果の検証と今後への見極めはしっかり行いながら、現在の構成は維持されていくべき。

(3) 第2分科会（第2回）

- 普通高校の中の単位制や、特色ある学科の成果が上がっているかどうかを十分に検証して、その上で次期案を策定してもらいたい。

2 本県におけるこれまでの取組状況

(1) 第1次実施計画 [平成12年度～平成16年度]

「高校教育に関する意識調査」を平成9年度に実施し、青森県高等学校教育改革推進検討会議において、調査結果を参考として平成10年度に答申をとりまとめ、県教育委員会において、平成12年度に第1次実施計画を策定した。

(2) 第2次実施計画 [平成17年度～平成20年度]

第1次実施計画の実施状況及びその後の取組内容を記載した第2次実施計画を策定した。

(3) 第3次実施計画

【前期】 [平成21年度～平成25年度]

「本県高等学校教育改革の状況」として、各種取組の現状と課題をまとめた上で、高等学校グランドデザイン会議において、平成19年度に答申をとりまとめ、県教育委員会において、平成20年度に第3次実施計画を策定した。

【後期】 [平成26年度～平成29年度]

後期計画の検討過程で行った地区説明会において、「前期実施計画の実施状況」を示し、県民から意見を伺いながら、県教育委員会で平成24年度に後期計画を策定した。

(4) 青森県立高等学校将来構想検討会議 [平成26年度～平成27年度]

青森県立高等学校将来構想検討会議においては、次の調査等により、これまでの取組状況を確認しつつ、検討を重ねているところである。

- ①高等学校教育に関する意識調査
- ②多様な教育制度等に対するアンケート調査
- ③県小学校長会、県中学校長会、県高等学校長協会等への意見照会
- ④学校視察

(資料5参照)

3 他県における検証の事例

目的	<p>○将来にわたり広く県民から信頼される高校教育を展開するため、県立高等学校再編計画の実施状況及び成果や課題を把握し、より一層魅力ある学校づくりの推進と今後の高校再編計画の策定に資することを目的とする。</p> <p>○さらなる教育改革を着実に進めていくためには、時代や環境の変化を的確に捉えながら、常に各種の高校教育改革の取組の進捗状況や成果・課題等の検証を行うことが不可欠であり、また、その検証に当たっては、透明性及客観性の十分な担保と、検証した結果を速やかに実施計画等に反映できるシステムの構築が必要である。</p>
組織	<p>○審議会（次期計画に関わる有識者会議において検証）</p> <p>○外部委員・庁内委員で構成される検証委員会</p> <p>○教育委員会内部における検証組織</p> <p>○外部委員からなる検証委員会</p>
検証方法	<p>○検証対象校のデータ （定員充足、中途退学率、部活動加入率、進路状況、開設科目数等）</p> <p>○アンケート調査結果</p> <p>○検証対象校での聞き取り調査</p>
検証内容	<p>○学校・学科の在り方</p> <p>○多様な教育制度</p> <p>○定時制・通信制高等学校の活性化と望ましい配置</p> <p>○学校規模・配置</p> <p>○再編計画の基本的な考え方や実施プロセス</p> <p>○魅力ある高等学校づくり</p>
検証の観点	<p>○高校進学への機会は確保されているか。</p> <p>○地域バランスは適切か。学校選択肢の拡充となっているか。</p> <p>○児童・生徒・保護者のニーズ、満足度は高いか。</p> <p>○役割に応じた教育活動が展開されているか。</p> <p>○学校規模の適正化は推進されたか。</p> <p>○再編整備により教育環境の充実は図られたか。</p> <p>○学科等の内容について、中学生や保護者、教員に理解されているか。</p>

<検証のイメージ>

